



## プレフィックス リスト コマンド

---

この章では、NCS 5000 で IP バージョン 4 (IPv4) や IP バージョン 6 (IPv6) のプレフィックス リストを設定する際に使用する Cisco IOS XR ソフトウェアのコマンドについて説明します。

プレフィックスリストの概念、設定作業、例に関する詳細については、『*IP Addresses and Services Configuration Guide for Cisco NCS 5000 Series Routers*』を参照してください。

- [clear prefix-list ipv4](#), 2 ページ
- [copy prefix-list ipv4](#), 4 ページ
- [deny \(プレフィックス リスト\)](#), 6 ページ
- [ipv4 prefix-list](#), 9 ページ
- [permit \(プレフィックス リスト\)](#), 11 ページ
- [remark \(プレフィックス リスト\)](#), 14 ページ
- [resequence prefix-list ipv4](#), 16 ページ
- [show prefix-list afi-all](#), 18 ページ
- [show prefix-list](#), 19 ページ
- [show prefix-list ipv4](#), 20 ページ
- [show prefix-list ipv4 standby](#), 22 ページ

## clear prefix-list ipv4

IP Version 4 (IPv4) プレフィックスリストのヒットカウントをリセットするには、で **clear prefix-list ipv4** コマンドを使用します。

**clear prefix-list ipv4** *name* [ *sequence-number* ]

### 構文の説明

<i>name</i>	ヒットカウントをクリアするプレフィックスリストの名前。
<i>sequence-number</i>	(任意) プレフィックスリストのシーケンス番号。範囲は 1 ～ 2147483646 です。

### コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

ヒットカウントは、特定のプレフィックスリスト エントリに一致する数を示す値です。特定の設定済みプレフィックスリストのカウンタをクリアするには、**clear prefix-list ipv4** コマンドを使用します。

特定のシーケンス番号を持つプレフィックスリストのカウンタをクリアするには、*sequence-number* 引数を使用します。

### タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り、書き込み

## 例

次に、IPv4 プレフィックスリストを表示し、list3 のカウンタをクリアする例を示します。その後、IPv4 プレフィックスリストを再度表示して、list3 のカウンタがクリアされていることを確認します。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.18.30.154/16 (8 matches)
ipv4 prefix-list list2
 20 deny 172.24.30.164/16 (12 matches)
ipv4 prefix-list list3
 30 permit 172.19.31.154/16 (32 matches)

RP/0/# clear prefix-list ipv4 list3

RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.18.30.154/16 (8 matches)
ipv4 prefix-list list2
 20 deny 172.24.30.164/16 (12 matches)
ipv4 prefix-list list3
 30 permit 172.19.31.154/16
```

# copy prefix-list ipv4

既存の IP バージョン 4 (IPv4) プレフィックスリストのコピーを作成するには、で **copy prefix-list ipv4** コマンドを使用します。

**copy prefix-list ipv4** *source-name destination-name*

## 構文の説明

<i>source-name</i>	コピー対象のプレフィックス リストの名前。
<i>destination-name</i>	<i>source-name</i> の内容のコピー先のプレフィックス リスト。

## コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

設定済みプレフィックス リストをコピーするには、**copy prefix-list ipv4** コマンドを使用します。*source-name* 引数を使用してコピー元のプレフィックス リストを指定し、*destination-name* 引数を使用して、ソースプレフィックス リストの内容のコピー先を指定できます。*destination-name* 引数は一意の名前でなければなりません。プレフィックス リストまたはアクセス リストを示す *destination-name* 引数名が存在する場合、そのプレフィックス リストはコピーされません。**copy prefix-list ipv4** コマンドは、送信元プレフィックス リストが存在することをチェックしてから既存のリスト名をチェックし、既存のプレフィックス リストが上書きされないようにします。

## タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り、書き込み
filesystem	実行

## 例

次に、IPv4プレフィックスリストを表示し、プレフィックスリスト list1 を list4 にコピーし、IPv4プレフィックスリストを再表示して list4 を表示する例を示します。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.24.20.164/16
ipv4 prefix-list list2
 20 deny 172.18.30.154/16
ipv4 prefix-list list3
 30 permit 172.29.30.154/16

RP/0/# copy prefix-list ipv4 list1 list4

RP/0/# show prefix-list ipv4
ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.24.20.164/16
ipv4 prefix-list list2
 20 deny 172.18.30.154/16
ipv4 prefix-list list3
 30 permit 172.29.30.154/16
ipv4 prefix-list list4
 10 permit 172.24.20.164/16
```

## deny (プレフィックスリスト)

IP バージョン 4 (IPv4) プレフィックスリストの拒否条件を設定するには、IPv4 プレフィックスリスト コンフィギュレーションモードで **deny** コマンドを使用します。プレフィックスリストから条件を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
[sequence-number] deny network/length [ge value] [le value] [eq value]
```

```
no sequence-number deny
```

### 構文の説明

<i>sequence-number</i>	(任意) 特定のシーケンス番号を持つプレフィックスリストに対し拒否条件を設定します。シーケンス番号を使用しない場合、デフォルトではプレフィックスリスト中の次に空いているシーケンス番号で条件が設定されます。範囲は 1 ~ 2147483646 です。デフォルトでは、最初のステートメントが番号 10 で、以降のステートメントは 10 ずつ増分されます。 <b>sequence-number</b> 引数は、コマンドの <b>no</b> 形式で使用する必要があります。
<i>network/length</i>	ネットワーク マスクのネットワーク番号と長さ (ビット単位)。
<i>gevalue</i>	(任意) 値に等しいかそれよりも長いプレフィックス長を指定します。これは <i>length</i> の範囲の最小値です (長さ範囲の「下限」に該当する値)。
<i>levalue</i>	(任意) 値に等しいかそれよりも短いプレフィックス長を指定します。これは <i>length</i> の範囲の最大値です (長さ範囲の「上限」に該当する値)。
<i>eqvalue</i>	(任意) <i>length</i> の正確な値。

### コマンド デフォルト

IPv4 プレフィックスリストでパケットが拒否される特定の条件はありません。

### コマンド モード

IPv4 プレフィックスリスト コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** プレフィックスリストでパケットを拒否する条件を指定するには、**deny** コマンドを使用します。

**ge**、**le**、**eq** の各キーワードを使用すると、*network/length* 引数よりも詳細にプレフィックス長の照合範囲を指定できます。**ge** も **le** も指定しない場合は、完全一致と見なされます。**ge** キーワードのみを指定した場合、範囲は **gevalue** から 32 までと仮定されます。**le** 属性のみを指定した場合、範囲は *length* から **le value** 引数までと見なされます。

指定する **gevalue** または **levalue** は、次の条件を満たしている必要があります。

*length* < **gevalue** < **levalue** <= 32 (IPv4 の場合)

*length* < **gevalue** < **le value** <= 128 (IPv6 の場合)

タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り、書き込み

例

次に、ルート 10.0.0.0/0 を拒否する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv4_pfx)# 50 deny 10.0.0.0/0
```

次に、プレフィックスが 10.3.32.154 のすべてのルートを拒否する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv4_pfx)#80 deny 10.3.32.154 le 32
```

次に、プレフィックスが 172.18.30.154/16 の、25 ビットよりも長いルートのすべてのマスクを拒否する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv4_pfx)#100 deny 172.18.30.154/16 ge 25
```

次に、すべてのアドレス空間で 25 ビットよりも大きいマスク長を拒否する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list2
RP/0/(config-ipv6_pfx)# 70 deny 2000:1::/64 ge 25
```

次の例は、list3 に拒否条件を追加し、コマンドの **no** 形式を使用してシーケンス番号が 30 の条件を削除する方法を示しています。

```
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list3

RP/0/(config-ipv6_pfx)# deny 2000:1::/64 ge 25
RP/0/(config-ipv6_pfx)# deny 3000:1::/64 le 32
RP/0/(config-ipv6_pfx)# deny 4000:1::/64 ge 25
Uncommitted changes found, commit them? [yes]: y

RP/0/# show prefix-list ipv6

ipv6 prefix-list list3
 10 deny 2000:1::/64 ge 25
 20 deny 3000:1::/64 le 32
 30 deny 4000:1::/64 ge 25
```

## deny (プレフィックスリスト)

```
RP/0/# configure
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list3
RP/0/(config-ipv6_pfx)# no 30
Uncommitted changes found, commit them? [yes]: y
RP/0/# show prefix-list ipv6

ipv6 prefix-list list3
 10 deny 2000:1::/64 ge 25
 20 deny 3000:1::/64 le 32
```



## ipv4 prefix-list

IP バージョン 4 (IPv4) プレフィックス リストを名前で定義するには、で **ipv4 prefix-list** コマンドを使用します。プレフィックスリストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**ipv4 prefix-list name**

**no ipv4 prefix-list name**

### 構文の説明

<i>name</i>	プレフィックス リストの名前。名前にはスペースや疑問符を使用できません。
-------------	--------------------------------------

### コマンド デフォルト

IPv4 プレフィックス リストは定義されていません。

### コマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**ipv4 prefix-list** コマンドは、IPv4 プレフィックス リストを設定するために使用します。このコマンドを指定すると、ルータはプレフィックスリストコンフィギュレーションモードになります。このモードでは、アクセスを拒否または許可する条件を **deny** または **permit** コマンドを使用して定義する必要があります。プレフィックス リストを作成するには条件を追加する必要があります。

新しい IPv4 プレフィックス リスト ステートメント (**permit**、**deny**、**remark**) を追加するには、**resequence prefix-list ipv4** コマンドを使用して、既存のステートメントの番号を再設定し、以降のステートメントを増分します。先頭のエントリ番号 (*base*) を指定し、ステートメントのエントリ番号を隔てるための増分を指定します。既存のステートメントの番号が再設定され、未使用のエントリ番号で新しいステートメントが追加できるようになります。

### タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り、書き込み

タスク ID	動作
ipv4	読み取り、書き込み

## 例

次に、プレフィックスリストを表示し、list2を設定し、両方のプレフィックスリストの条件を表示する例を示します。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.20.10.171/16 le 24
 20 permit 172.18.0.0/16
 30 deny 172.24.20.164/16 ge 25

RP/0/# configure
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list list2

RP/0/(config-ipv4_pfx)#deny 172.18.30.154/16 ge 25
RP/0/(config-ipv4_pfx)#
Uncommitted changes found, commit them? [yes]: Y

RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.20.10.171/16 le 24
 20 permit 172.18.0.0/16
 30 deny 172.24.20.164/16 ge 25
ipv4 prefix-list list2
 10 deny 172.18.30.154/16 ge 25
```

# permit (プレフィックスリスト)

IPバージョン4 (IPv4) プレフィックスリストの許可条件を設定するには、IPv4プレフィックスリストコンフィギュレーションモードで **permit** コマンドを使用します。プレフィックスリストから条件を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

[ *sequence-number* ] **permit** *network/length* [**ge** *value*] [**le** *value*] [**eq** *value*]  
**no** *sequence-number* **permit**

## 構文の説明

<i>sequence-number</i>	(任意) プレフィックスリスト中の <b>permit</b> ステートメントの番号。この番号により、プレフィックスリスト中のステートメントの順番が決まります。範囲は 1 ~ 2147483646 です。デフォルトでは、最初のステートメントが番号 10 で、以降のステートメントは 10 ずつ増分されます。
<i>network/length</i>	ネットワーク マスクのネットワーク番号と長さ (ビット単位)。
<b>gevalue</b>	(任意) 値に等しいかそれよりも長いプレフィックス長を指定します。これは <i>length</i> の範囲の最小値です (長さ範囲の「下限」に該当する値)。範囲は 1 ~ 128 です。
<b>levalue</b>	(任意) 値に等しいかそれよりも短いプレフィックス長を指定します。これは <i>length</i> の範囲の最大値です (長さ範囲の「上限」に該当する値)。範囲は 1 ~ 128 です。
<b>eqvalue</b>	(任意) <i>length</i> の正確な値。範囲は 1 ~ 128 です。

## コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

IPv4 プレフィックスリスト コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** プレフィックスリストでパケットを許可する条件を指定するには、**permit** コマンドを使用します。

**ge**、**le**、**eq** の各キーワードを使用すると、*network/length* 引数よりも詳細にプレフィックス長の照合範囲を指定できます。**ge** も **le** も指定しない場合は、完全一致と見なされます。**ge** キーワードのみを指定した場合、範囲は **gevalue** から 32 までと仮定されます。**le** 属性のみを指定した場合、範囲は *length* から **le value** 引数までと見なされます。

指定する **gevalue** または **levalue** は、次の条件を満たしている必要があります。

*length* < **gevalue** < **levalue** <= 32 (IPv4 の場合)

*length* < **gevalue** < **levalue** <= 128 (IPv6 の場合)

## タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り、書き込み

## 例

次に、プレフィックス 172.18.0.0/16 を許可する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv4_pfx)# permit 172.18.0.0/16
```

次に、プレフィックスが 172.20.10.171/16 のルートで、24 ビットまでのマスク長を許可する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv4_pfx)# permit 172.20.10.171/16 le 24
```

次に、すべてのアドレス空間で 8 ~ 24 ビットのマスク長を許可する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv6_pfx)# permit 2000:1::/64 ge 8 le 24
```

次に、list3 に許可条件を追加し、シーケンス番号 30 の条件を削除する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list3
RP/0/(config-ipv6_pfx)# permit 2000:1::/64 ge 25
RP/0/(config-ipv6_pfx)# permit 3000:1::/64 le 32
RP/0/(config-ipv6_pfx)# permit 3000:1::/64 ge 25
Uncommitted changes found, commit them? [yes]: y
RP/0/#show ipv6 prefix-list

ipv6 prefix-list list3
 10 permit 2000:1::/64 ge 25
 20 permit 3000:1::/64 le 32
 30 permit 4000:1::/64 ge 25

RP/0/# configure
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list3
RP/0/(config-ipv6_pfx)# no 30
```

```
Uncommitted changes found, commit them? [yes]: y
RP/0/# show prefix-list ipv6

ipv6 prefix-list list3
 10 permit 2000:1::/64 ge 25
 20 permit 3000:1::/64 le 32

10 deny 2000:1::/64 ge 25
 20 deny 3000:1::/64 le 32
 30 deny 4000:1::/64 ge 25
```

## remark (プレフィックスリスト)

IPバージョン4 (IPv4) プレフィックスリストのエントリに有益なコメント (注釈) を記入するには、IPv4 プレフィックスリスト コンフィギュレーションモードで **remark** コマンドを使用します。コメントを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

[ *sequence-number* ] **remark** *remark*

**no** *sequence-number*

### 構文の説明

<i>sequence-number</i>	(任意) プレフィックスリスト内の <b>remark</b> ステートメントの番号。この番号により、プレフィックスリスト中のステートメントの順番が決まります。番号の範囲は1～2147483646です (デフォルトでは、最初のステートメントの番号が10で、以降のステートメントは10ずつ増分されます)。
<i>remark</i>	プレフィックスリストのエントリを説明する、最大255文字のコメント。

### コマンド デフォルト

プレフィックスリスト エントリに注釈はありません。

### コマンド モード

IPv4 プレフィックスリスト コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**remark** コマンドを使用すると、プレフィックスリストのエントリに有益なコメントを書き込むことができます。注釈の長さは最大255文字で、これより長い注釈は切り捨てられます。

削除するコメントのシーケンス番号がわかっている場合は、**no sequence-number** コマンドで削除できます。

既存の IPv4 プレフィックスリストにステートメントを追加するには、**resequence prefix-list ipv4** コマンドを使用します。

## タスク ID

## タスク ID

## 動作

acl

読み取り、書き込み

## 例

次に、プレフィックスリスト エントリを説明する注釈を設定する例を示します。

```
RP/0/(config)# ipv4 prefix-list deny-ten
RP/0/(config-ipv4_pfx)# 10 remark Deny all routes with a prefix of 10/8
RP/0/(config-ipv4_pfx)# 20 deny 10.0.0.0/8 le 32
RP/0/(config-ipv4_pfx)# end
```

次に、使用方法を説明する注釈を設定する例を示します。

```
RP/0/# show prefix-list ipv6
```

```
ipv6 prefix-list list1
 40 permit 2000:1::/64
 60 deny 3000:1::/64
```

```
RP/0/# configure
```

```
RP/0/(config)# ipv6 prefix-list list1
RP/0/(config-ipv6-pfx)# 10 remark use from july23 forward
RP/0/(config-ipv6-pfx)#
Uncommitted changes found, commit them? [yes]: y
```

```
RP/0/0/CPU0:Apr  4 02:20:34.851 : config[65700]: %LIBTARCFG-6-COMMIT : Configura
tion committed by user 'UNKNOWN'. Use 'show commit changes 1000000023' to view
the changes.
```

```
RP/0/0/CPU0:Apr  4 02:20:34.984 : config[65700]: %SYS-5-CONFIG_I : Configured fr
om console by console
```

```
RP/0/# show prefix-list ipv6
```

```
ipv6 prefix-list list1
 10 remark use from july23 forward
 40 permit 2000:1::/64
 60 deny 3000:1::/64
```

## resequence prefix-list ipv4

既存のステートメントの番号を再設定して以降のステートメントを増分し、新しいプレフィックスリストステートメント (**permit**、**deny**、**remark**) を追加できるようにするには、で **resequence prefix-list ipv4** コマンドを使用しま

```
resequence prefix-list ipv4 name [base [ increment ]]
```

### 構文の説明

<i>name</i>	プレフィックスリストの名前。
<i>base</i>	(任意) プレフィックスリスト中の順序を決定する、指定したプレフィックスリスト中の最初のステートメントの番号。最大値は 2147483646 です。
<i>increment</i>	(任意) 以降のステートメントでの、ベースシーケンス番号に対する増分。最大値は 2147483646 です。

### コマンド デフォルト

*base*: 10  
*increment*: 10

### コマンド モード

XR コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

プレフィックスリストエントリのシーケンス番号によって、リスト中のエントリの順番が決まります。ルータは、ネットワーク アドレスとプレフィックスリスト エントリを比較します。ルータは、プレフィックスリストの先頭 (最も小さいシーケンス番号) から比較を開始します。

プレフィックスリストの複数のエントリがプレフィックスに一致する場合、シーケンス番号が最も小さいエントリが実際の一致と見なされます。一致または拒否が発生すると、プレフィックスリストの残りのエントリは処理されません。

デフォルトでは、プレフィックスリストの最初のステートメントのシーケンス番号が 10 で、以降のステートメントは 10 ずつ増分されます。



既存の IPv4 プレフィックスリストの連続しているエントリの間には **permit**、**deny**、または **remark** ステートメントを追加するには、**resequence prefix-list ipv4** コマンドを使用します。先頭のエントリ番号 (*base*) を指定し、ステートメントのエントリ番号を隔てるための増分を指定します。既存のステートメントの番号が再設定され、未使用のエントリ番号で新しいステートメントが追加できるようになります。

---

**タスク ID**

タスク ID	動作
acl	読み取り、書き込み

---



---

**例**

次に、プレフィックスリスト list1 のシーケンス番号の間隔を表示し、list1 のシーケンス番号を 10 から 30 間隔に再設定し、変更後のシーケンス番号を表示する例を示します。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.20.10.171/16 le 24
 20 permit 172.18.0.0/16
 30 deny 172.24.20.164/16 ge 25
ipv4 prefix-list list2
 10 deny 172.18.30.154/16 ge 25

RP/0/# resequence prefix-list ipv4 list1 10 30

RP/0/0/CPU0:Apr  4 02:29:39.513 : ipv4_acl_action_edm[183]: %LIBTARCFG-6-COMMIT
: Configuration committed by user 'UNKNOWN'.  Use 'show commit changes 10000000
24' to view the changes.

RP/0/# resequence prefix-list ipv4 ldp_filter 30 10

RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.20.10.171/16 le 24
 40 permit 172.18.0.0/16
 70 deny 172.24.20.164/16 ge 25
ipv4 prefix-list list2
 10 deny 172.18.30.154/16 ge 25
```

# show prefix-list afi-all

すべてのアドレスファミリのプレフィックスリストの内容を表示するには、で **show prefix-list afi-all** コマンドを使用します。

## show prefix-list afi-all

### 構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

### コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り

### 例

次の例は、**show prefix-list afi-all** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show prefix-list afi-all
ipv4 prefix-list ldp_filter
 10 permit 120.0.0.0/8 ge 8 le 32 (2000 matches)
 30 permit 130.3.0.0/24 ge 8 le 32
```

## show prefix-list

プレフィックス リストまたはプレフィックス リスト エントリに関する情報を表示するには、**show prefix-list** コマンドを使用します。

**show prefix-list** [ *list-name* ] [ *sequence-number* ]

### 構文の説明

<i>list-name</i>	(任意) プレフィックス リストの名前。
<i>sequence-number</i>	(任意) プレフィックス リスト エントリのシーケンス番号。範囲は 1 ~ 2147483646 です。

### コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り

### 例

次の例は、**show prefix-list** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4 summary
Prefix List Summary:
  Total Prefix Lists configured:          0
  Total Prefix List entries configured : 0
```

## show prefix-list ipv4

現在の IP バージョン 4 (IPv4) プレフィックス リストの内容を表示するには、で **show prefix-list ipv4** コマンドを使用します。

**show prefix-list ipv4** [*list-name*] [*sequence-number*] [**summary**]

### 構文の説明

<i>list-name</i>	(任意) プレフィックス リストの名前。
<i>sequence-number</i>	(任意) プレフィックス リスト エントリのシーケンス番号。範囲は 1 ~ 2147483646 です。
<b>summary</b>	(任意) プレフィックス リストの内容の要約を出力します。

### コマンド デフォルト

すべての IPv4 プレフィックス リストが表示されます。

### コマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show prefix-list ipv4** コマンドは、すべての IPv4 プレフィックス リストの内容を表示するために使用します。特定の IPv4 プレフィックス リストの内容を表示するには、*name* 引数を使用します。特定のプレフィックス リスト エントリを指定するには、*sequence-number* 引数を使用します。プレフィックス リストの内容のサマリーを表示するには、**summary** キーワードを使用します。

### タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り

## 例

次に、設定されているすべてのプレフィックスリストを表示する例を示します。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.20.10.171/16 le 24
 20 permit 172.18.0.0/16
 30 deny 172.24.20.164/16 ge 25
ipv4 prefix-list list2
 10 deny 172.18.30.154/16 ge 25
```

次の例では、*list-name* 引数を使用して、list1 というプレフィックスリストを表示しています。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4 list1

ipv4 prefix-list list1
 10 permit 172.20.10.171/16 le 24
 20 permit 172.18.0.0/16
 30 deny 172.24.20.164/16 ge 25
```

次の例では、*list-name* 引数と *sequence-number* 引数を使用して、シーケンス番号 10 の list1 というプレフィックスリストを表示しています。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4 list1 30

ipv4 prefix-list list1
 30 deny 172.24.20.164/16 ge 25
```

## show prefix-list ipv4 standby

現在の IPv4 スタンバイ アクセス リストの内容を表示するには、で **show access-listsipv4 standby** コマンドを使用します。

**show prefix-list ipv4 standby** [*prefix-list name*] [**summary**]

### 構文の説明

<i>prefix-list name</i>	(任意) 特定の IPv4 プレフィックス リストの名前。prefix-list-name 引数の値は英数字の文字列で、スペースまたは引用符を含めることはできません。
<b>summary</b>	(任意) 現在のすべての IPv4 スタンバイ プレフィックス リストのサマリーを表示します。

### コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show prefix-listipv4 standby** コマンドを使用すると、現在の IPv4 スタンバイ プレフィックス リストの内容を表示することができます。特定の IPv4プレフィックスリストの内容を表示するには、*name* 引数を使用します。

**show prefix-list ipv4 standby summary** コマンドを使用すると、すべての IPv4 スタンバイプレフィックス リストのサマリーを表示することができます。

### タスク ID

タスク ID	動作
acl	読み取り

例 次の例では、すべての IPv4 アクセス リストの内容が表示されています。

```
RP/0/# show prefix-list ipv4 standby summary
Prefix List Summary:
  Total Prefix Lists configured:      2
  Total Prefix List entries configured : 6
```

```
show prefix-list ipv4 standby
```